

~2学期ありがとうございました!~

残暑厳しい2学期の始まりでしたが、季節は進み、あっという間に秋が過ぎ、冬の寒さが身にしみる頃となりました。

2学期も父母の皆さまのご協力のもと、多くの行事が盛大に開催されました。父母の皆さまの多大なるご支援・ご協力に、心より感謝申し上げます。

TFレター2学期号では、2学期に行われた父母懇行事のダイジェストに加え、特集として、秋の父母懇メインイベントである「オータムフェスティバル・ビッグフェスティバル」に関連した「折り鶴80万羽プロジェクト」の取り組みをご紹介いたします。



2学期父母懇行事ダイジェスト

今学期も多くの方々にご参加いただき、各行事やイベントが大いに盛り上りました。

各行事の詳細レポートは、父母懇ホームページの「気まぐれ diary」に随時掲載しております。

是非ご覧ください。

◆9月6日 第一回幹事会

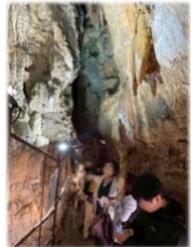
スタディホールに地域幹事様をはじめ118名の皆さまにお集まりいただきました。

北村雅臣先生による東海の教育と父母懇の未来についてのご講演や、分散会での他地域との意見交換など大変有意義な時間となりました。



◆10月4日 第二回文化講座 バスハイク

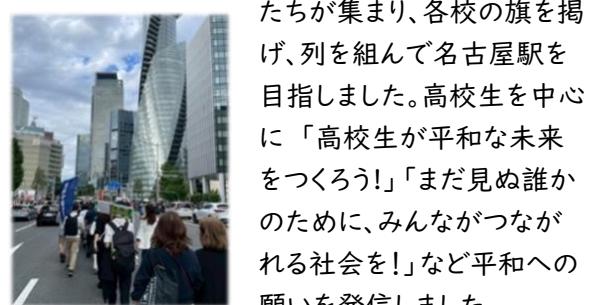
毎年大好評のバスハイク。今年は教員・保護者あわせて54名にご参加いただき郡上八幡へ。幻想的な「大滝鍾乳洞」の見学、郡上名物の鮎料理コースの昼食、食品サンプルづくり体験、郡上八幡の城下町散策、車中の



ビンゴ大会など盛りだくさんの行程で、参加者の皆さまの笑顔が溢れ、大変楽しく充実した一日となりました。

◆10月19日 大パレード

愛知私学の中高生、教員、保護者、卒業生父母



たちが集まり、各校の旗を掲げ、列を組んで名古屋駅を目指しました。高校生を中心に「高校生が平和な未来をつくろう!」「まだ見ぬ誰かのために、みんながつながれる社会を!」など平和への願いを発信しました。

◆8月末~10月 秋の地域懇談会

地域幹事・世話人の皆さまのご尽力により、28会場で秋の地域懇談会が開催されました。

地域ごとに趣向をこらし、学校、レストラン、コミュニティセンター等で、教員や東海OBによる講演や座談会、会食などを通して保護者同士が交流を深めました。

※気まぐれ diary には、【大垣地区懇】のレポートを掲載しています。



※本号後半でステージに飾られた千羽鶴について特集しています。

❖ 9月28日～12月7日

オータムフェスティバル

県下37会場で開催され、各会場で記念式典が行われました。戦後80年の節目の年、希望プロジェクトでは県議・市議を前に高校生たちによりこれまでの沖縄戦で犠牲となった人々の鎮魂歌である「島唄」をテーマ曲にした群舞が披露され、平和への願い、私学教育と私学助成の大切さを訴えました。

東海が会場校となった東オータムフェスティバル



は、企画・模擬店などで賑わい、式典では高校生たちの群舞に合わせて東海高校の生徒と父母が「島唄」を合唱しました。

❖ 11月9日 ビッグフェスティバル

大雨の中、名城公園で開催されました。オータムフェスティバルの集大成のイベントとして、冷たい雨に打たれながらも、宮沢和史さんの三線による「島唄」や高校生たちの群舞の熱い思いが会場を包み、心に残る一日となりました。東海中高の生徒たちは、みたらし団子やフライドポテトの模擬店、古本市を担当し、訪れる人々に笑顔を届けました。

❖ 12月13日 父母懇忘年会



コートヤード・バイ・マリオット名古屋にて開催され、父母の皆さまへ日頃の父母懇活動へのご協力に感謝を伝える場となりました。川合先生と馬塚先生による優雅な音楽の演奏で幕を開け、お食事を楽しんでいただきながら、ゲーム大会や、田中円先生率いる「新しい父母懇のリーダーズ（田中先生、谷中先生、籠谷先生、北村先生、笠行先生、岡本先生）」による圧巻のステージパフォーマンスなど多彩な企画で会場が一体となり大いに盛り上がりました。参加された皆さまからは「来年もぜひ参加したい」という嬉しいお声をいただきました。



特集：

祈りを折り鶴に、想いをつなぐ

「折り鶴80万羽プロジェクト」の軌跡



第二次世界大戦の終結から80年の今年、愛知父母懇談会では、高校生による広島への自転車ピースリレーや沖縄スタディツアー、大パレードなど、平和を願う活動が一年を通して行われました。

そしてその一環として、全国の私学で取り組んだ「折り鶴80万羽プロジェクト」。



各校から集められたたくさんの千羽鶴は今年のオータムフェスティバルやビッグフェスティバルの会場を彩りました。一羽一羽平和への想いを込めて折られた折り鶴の中には東海生がつくった折り鶴がありました。

15000羽の折り鶴作成を託され、東海生と共に駆け抜けたプロジェクトの軌跡を、教員代表の谷中先生の目線から振り返ります。

目標15000羽、途方に暮れたスタート

戦後80年という節目にあたり、全国の私学で提案された「折り鶴80万羽プロジェクト」において愛知私学で最も期待される学校として、東海中高は、15000羽という大きな目標を担うことになりました。

この目標に対してどう折り鶴を集めるか途方に暮れていたところ、中学数学科の永田先生が、授業後に集まって折り鶴を作ることを中学生に呼びかけてくれたことでプロジェクトが大きく動き出しました。



「平和を祈る折り鶴くらぶ」の結成と

広がる協力の輪

「やってみたい！」

折り紙好きの二人の生徒の素直な想いが仲間を集め、学年を越えた協力へつながって、中1から中3まで15名以上の生徒による「平和を祈る折り鶴くらぶ」が結成されました。



生徒たちにより、放課後の教室で一羽一羽に平和への願いを込めて折られた折り鶴は、毎日職員室に届けられました。そうした生徒たちの姿にいつしか教員たちも空き時間に折り鶴を作りながら雑談をするようになっていました。自然と広がっていった協力の輪により、いつのまにか折り鶴の箱はいっぱいになっていました。

さらに広がる協力の輪「記念祭」企画

生徒たちは自主的にミーティングを開き、記念祭で来場者に協力の輪を広げるための企画に取り組みました。当日は、巨大鶴の設置や、タイムアタックといったゲーム性を取り入れた教室レイアウトで「映え」にもこだわり、400名以上の来場者に参加していました。

だくことができました。平和へのメッセージを募ることで、ご参加いただいた皆さんに平和を願う意識を深めていただくこともできました。



プロジェクトの集大成「ビッグフェスティバル」への参加

折り鶴は千羽鶴となって、11月9日に名城公園で開催されたビッグフェスティバルのステージバックボードに装飾されました。

ビッグフェスティバル直前、インフルエンザの流行による学級閉鎖というピンチに見舞われましたが、折り鶴くらぶ以外から多くの生徒が糸通しの作業に協力してくれたことで乗り切ることができました。

また、折り鶴くらぶの生徒たちにプロジェクトの成果を見届けてもらいたいと考え、中学家庭科の伊藤先生の協力を得て、生徒たちにビッグプロジェクトの模擬店への参加を提案したところ快諾してくれました。当日は生憎の大雨となりましたが、生徒たちは全く動じることなく、最後まで楽しく元気にフライドポテトを販売。見事完売し、大きな達成感を胸にプロジェクトを終えることができました。

大雨の中、子どもたちの活動に惜しみない協力をしてくださった父母の皆さんに、心より感謝申し上げます。



想いをつなぐ

今回作成した千羽鶴は、来年の修学旅行で広島へ奉納する予定です。

この企画に関わっていただいた全ての皆さまの平和への祈りをしっかりと届けたいと思います。

本当にありがとうございました。



(折り鶴こぼれ話)

土砂降りのビッグフェスでステージに華を添えた東海の千羽鶴。慌ただしい会場撤収作業の中で、いつの間にか行方不明に。。。もう見つからないかもしれない…と誰もが落胆し諦めかけていた後日、豊明オータムフェスティバルで持ち主不明のまま飾られていた東海の千羽鶴が発見されたのです！

無事に東海生の元にもどった折り鶴たちは広島に奉納される日まで東海で大切に保管されます。



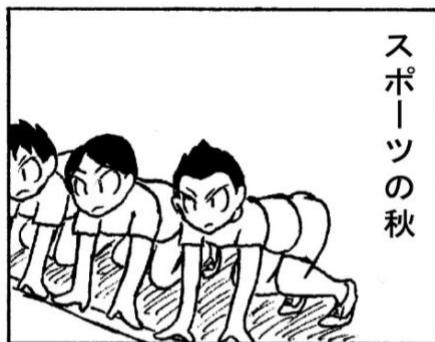
(オータムフェスティバル

あっとほーむ豊明にて)



勤僕誠実くん

作・絵／中学理科 堀尾優太郎先生



自称・生徒と真剣に向き合う指導。

編集後記

今年も残すところわずかとなりました。
2学期も記念祭をはじめ、部活動での活躍など、
東海生のパワーに圧倒された日々でした。
父母懇行事も同じくらい熱く盛り上がり、多くの
方々との関わりに感謝の気持ちでいっぱいです。
来年も父母懇をよろしくお願ひいたします。
皆さま、どうぞ良い年をお迎えください。

広報部

